

2018 年度加速器質量分析装置利用(共同利用)採択一覧

* 所属機関・職名は申請時のとおり

研究代表者	所属機関*	職名*	所内担当教員	研究課題
窪田 薫	海洋研究開発機構	日本学術振興会特別研究員(PD)	南 雅代	長寿二枚貝殻を利用した北西太平洋の海水放射性炭素濃度の復元
小元久仁夫	元 日本大学	元教授	南 雅代	ビーチロック試料の正確な膠結年代の決定方法
岩花 剛	アラスカ大学フェアバンクス校	Research Assistant Professor	南 雅代	永久凍土を利用した古環境復元の可能性
佐藤興平	気象庁	非常勤講師	南 雅代	火山体崩壊に起因する火山災害軽減のためのパイロット研究
青木周司	東北大学	教授	南 雅代	大気中二酸化炭素の放射性炭素同位体比の変動
太田充恒	産業技術総合研究所	上級主任研究員	南 雅代	サンゴ・シヤコ貝・石灰岩標準物質の ¹⁴ C測定
浅原良浩	名古屋大学	准教授	南 雅代	イラン北西部のタフテ・ソレイマーンおよび周辺域のトラバーチンの炭素14分析
奥野 充	福岡大学	教授	南 雅代	樹木試料による名古屋市と福岡市大気のスース効果の評価
西本 寛	愛知大学	准教授	南 雅代	能登半島中部に位置する縄文時代の真脇遺跡出土遺物の14C年代による編年